

# ENVIRONMENTAL ACTIVITY REPORT

地域に電気と真心を。

ELECTRICITY & SINCERITY IN THE COMMUNITY.



令和6年度(R6.4~R7.3)

令和7年6月1日 作成

令和7年11月21日 改訂

# CONTENTS

- 
- 01** | ENVIRONMENTAL POLICY  
環境経営方針
  - 02** | BUSINESS ACTIVITIES  
事業活動の概要
  - 03** | ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS  
環境経営目標とその実績
  - 04** | CONTENTS OF ENVIRONMENTAL ACTION PLAN  
主要な環境活動計画の内容
  - 05** | EVALUATION OF RESULTS OF ENVIRONMENTAL ACTIVITIES  
環境活動の取組結果の評価
  - 06** | VIOLATION OF ENVIRONMENTAL LAWS AND REGULATIONS  
環境関連法規への違反、訴訟等の有無
  - 07** | OVERALL EVALUATION AND REVIEW RESULTS BY REPRESENTATIVE  
代表者による全体評価と見直し結果

# 01 | ENVIRONMENTAL POLICY 環境経営方針



# WHO WE ARE / ENVIRONMENTAL POLICY

## 青森電気工業 / 環境経営方針

環境に配慮した提案から工事施工、メンテナンス、アフターサービスまでお客様とのコミュニケーションを大切にしています。  
「あなたの会社に頼んでよかった」と常に感謝していただける企業を目指しながら、  
一歩ずつ着実に成長し続けます。

### 【環境経営理念】

青森電気工業株式会社は、美しい自然環境を次世代へ引き継ぐ為、設備工事に係る企業活動を通じて、環境活動の必要性を社員全員が認識し、環境保全体制を構築し、その実現に努めます。

また、時代のニーズに適応したサービスを心掛け、地域社会に貢献し、地域に根差した企業を目指しながら、成長を続けていきます。

### 【環境経営方針】

1. 企画・設計段階において、省エネルギー、高効率化等を活用し環境に配慮した商品等の提案を積極的に行います。
2. 事業活動において環境負荷の低減と環境改善を図るために次の項目について重点的に取り組みます。
  - i 二酸化炭素排出の削減
  - ii 廃棄物の排出削減及びリサイクル向上
  - iii 水使用量の抑制
  - iv 化学物質の適正管理
  - v 環境配慮製品の販売促進
3. 環境保全に関する社会の変化、技術の変化に的確に対応し、環境経営の継続的改善を推進します。
4. 環境保全に関する法規等を遵守します。
5. 地域の環境保全活動に積極的に参加します。
6. 社会の変化に対応した働き方を推進し、生産性の向上に努めます。
7. 年配と若手とのバランスの取れた年齢層の企業を目指し、技術継承や人材育成に努め、社会貢献に寄与します。
8. 全社員に環境に関する教育を行い、環境保全に関する知識の向上を図ります。
9. 環境活動レポートを社内・外に公表し、社会との環境に関するコミュニケーションを図ります。

平成21年 7月 1日 制 定  
令和 5年 4月 1日 第3版改定

青森電気工業株式会社  
代表取締役 畑 中 健 一

## 02 | BUSINESS ACTIVITIES 事業活動の概要



## BUSINESS ACTIVITIES

# 事業活動の概要

事業者名及び  
代表者名

青森電気工業株式会社  
代表取締役 畑中 健一

所在地

青森県十和田市大字三本木字稲吉121-53

営業所住所

青森県上北郡六ヶ所村大字出戸字岡畑170-3

環境管理の責任者  
氏名連絡先

責任者 取締役 畑中 直美  
TEL 0176-23-2546

事業内容

青森県知事許可（特-4）1067号  
・電気工事業  
・電気通信工事業  
  
青森県知事許可（般-4）1067号  
・土木工事業  
・管工事業  
・消防施設工事業

事業の規模

令和5年度（令和5年7月～令和6年7月）  
売上高：678百万円  
従業員：31人  
延床面積：1,299.47㎡

事業年度

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月まで）

レポート対象  
期間及び発行日

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月まで）  
令和7年6月1日 発行

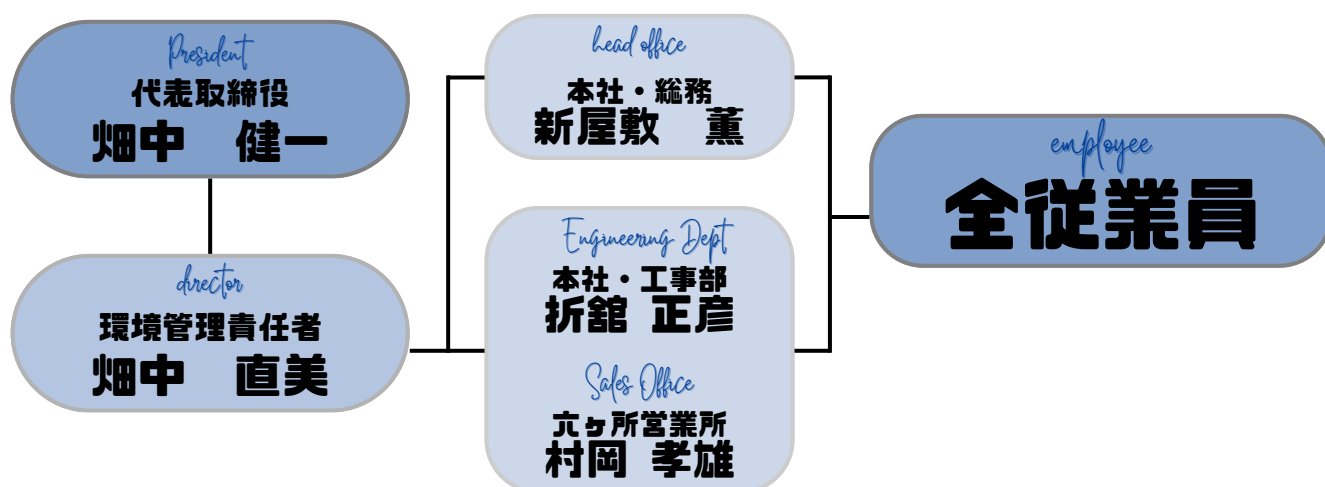
対象（認証・登録）  
範囲

青森電気工業株式会社の全組織及び全活動

# BUSINESS ACTIVITIES

## 事業活動の概要

EA21実施体制図



代表者 代表取締役 畑中 健一	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>取組に対する必要な設備の設置環境管理責任者の任命及び実施体制の構築</li> <li>環境経営方針の策定</li> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>全体の評価、見直し及び指示</li> </ul>
環境管理責任者 取締役 畑中 直美	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境目標、環境活動計画書の作成</li> <li>代表者への報告</li> <li>各担当の状況、把握</li> </ul>
総務部 新屋敷 薫	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員に対し、必要な教育訓練を計画し実施</li> <li>環境方針、環境目標達成の取組の推進</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境保全の取組計画</li> <li>環境活動レポートの作成、公開</li> </ul>
工務部 折館 正彦 六ヶ所営業所 村岡 孝雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷の自己チェック及び環境保全の取組の実施</li> <li>環境活動の実施及び是正、改善の実施</li> <li>環境方針、環境目標の周知</li> <li>環境活動の実施及び是正、改善計画</li> </ul>
EA21推進委員会 従業員全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚、実施</li> <li>環境活動へ自主的、積極的に参加</li> <li>活動の是正や改善を提案</li> </ul>

# 03 | ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

## 環境経営目標とその実績



# ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

## 環境経営目標とその実績

前年度までの排出量実績

表1. 主な環境負荷等の実績

環境への負荷			単位	R3	R4	R5
エネルギー使用量	電気	全社	kWh	23,545	24,000	90,296
		本社		21,032	21,338	87,367
		六ヶ所		2,513	2,662	2,929
	灯油	全社		3,341	3,165	2,732
		本社		2,710	2,705	2,030
		六ヶ所		631	460	702
	ガソリン	全社	L	20,609	22,050	23,304
		本社		14,420	13,623	12,455
		六ヶ所		6,189	8,426	10,849
	軽油	全社		33,954	33,718	35,587
		本社		27,917	28,142	30,485
		六ヶ所		6,037	5,576	5,102
	合計CO2排出量	全社	kg-CO2	157,529	160,062	195,024
		本社		124,451	123,341	153,394
		六ヶ所		33,079	36,722	41,630
廃棄物排出量	一般廃棄物		kg	2,142	2,455	2,708
	産業廃棄物			70	660	1,490
リサイクル			%	93	99.6	94
水使用量		全社	m³	126	105	204
		本社		103	95	193
		六ヶ所		23	10	11
化学物質			kg	0	0	0
環境配慮製品			件	66	66	89

# ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

## 環境経営目標とその実績

### 環境目標の設定

表2. 環境目標

環境への負荷			単位	基準	R5	R6	R7
エネルギー使用量	電気	全社	kWh	37,766	37,011	36,255	35,500
		本社		33,280	32,614	31,949	31,283
		六ヶ所		4,486	4,396	4,307	4,217
	灯油	全社	L	5,823	5,765	5,707	5,649
		本社		4,802	4,754	4,706	4,658
		六ヶ所		1,021	1,011	1,001	991
	ガソリン	全社	L	43,245	42,812	42,380	41,947
		本社		28,927	28,637	28,348	28,059
		六ヶ所		14,318	14,175	14,032	13,888
	軽油	全社	L	45,833	45,375	44,917	44,458
		本社		38,557	38,172	37,786	37,401
		六ヶ所		7,276	7,203	7,130	7,058
	合計CO2排出量	全社	kg-CO2	252,054	249,362	246,671	243,979
		本社		195,178	193,075	190,973	188,870
		六ヶ所		56,877	56,287	55,698	55,109
廃棄物排出量	一般廃棄物		kg	4,030	3,990	3,949	3,909
	産業廃棄物			2,556	2,530	2,504	2,479
リサイクル			%	95	96	97	98
水使用量		全社	m³	185	183	181	179
		本社		151	149	148	146
		六ヶ所		34	34	33	33
化学物質			kg	0	0	0	0
環境配慮製品			件	43	47	52	56

# ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

## 環境経営目標とその実績

### 当該年度の環境負荷の実績と評価

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標

環境への負荷			単位	基準値	目標値	実績	評価
エネルギー使用量	電気	全社	kWh	37,766	36,255	25,981	○
		本社		33,280	31,949	23,051	○
		六ヶ所		4,486	4,307	2,930	○
	灯油	全社		5,823	5,707	752	○
		本社		4,802	4,706	370	○
		六ヶ所		1,021	1,001	382	○
	ガソリン	全社	L	43,245	42,380	21,457	○
		本社		28,927	28,348	8,730	○
		六ヶ所		14,318	14,032	12,727	○
	軽油	全社		45,833	44,917	32,391	○
		本社		38,557	37,786	27,794	○
		六ヶ所		7,276	7,130	4,597	○
	合計CO2排出量	全社	kg-CO2	252,054	246,671	148,296	○
		本社		195,178	190,973	104,426	○
		六ヶ所		56,877	55,698	43,871	○
廃棄物排出量	一般廃棄物		kg	4,030	3,949	2,146	○
	産業廃棄物			2,556	2,504	150	○
リサイクル			%	95	97	99	○
水使用量	全社		m³	185	181	92	○
	本社			151	148	85	○
	六ヶ所			34	33	7	○
化学物質			kg	0	0	0	－
環境配慮製品			件	43	52	82	○

# ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

## 環境経営目標とその実績

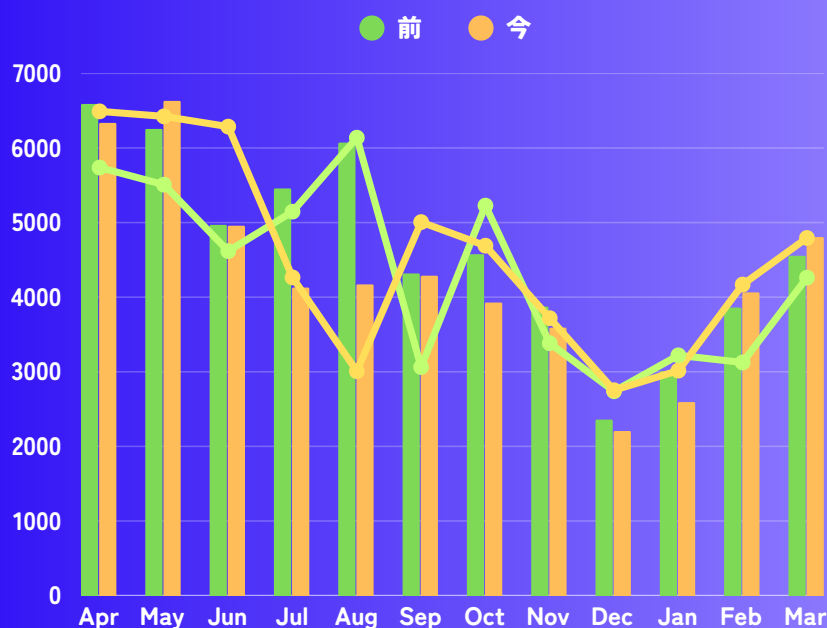
### 当該年度の太陽光発電実績

環境活動の一環として、また環境配慮製品の販売促進のため、発電量をデータ化し、販売促進へ繋げるように顧客への検討資料に使用している。

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標

設置場所：十和田市大字相坂字高見 地内

太陽光発電パネルメーカー：Series A 49.1kW



Series A		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R5	日照	204.9	196.7	164.9	183.8	219.2	109.4	186.7	120.8	97.8	115	111.6	152.2	1,863
	発電量	6590	6255	4970	5457	6072	4138	4576	3874	2359	3008	3861	4555	55,715
R6	日照	231.8	229.4	224.5	152.3	107.4	178.8	167.5	132.8	98.3	107.7	148.9	171.2	1,950.6
	発電量	6336	6631	4958	5129	4171	4288	3928	3592	2206	2594	4064	4806	52,703

# ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

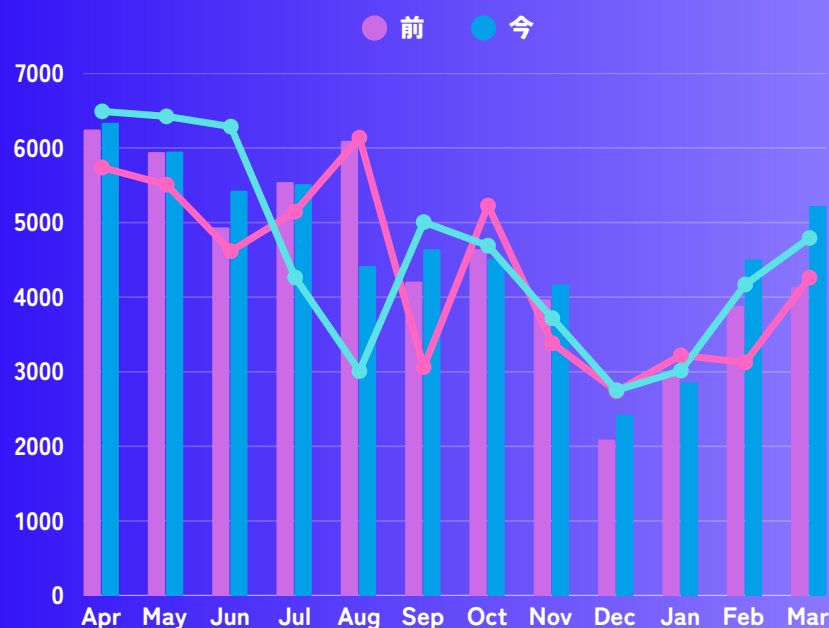
## 環境経営目標とその実績

### 当該年度の太陽光発電実績

環境活動の一環として、また環境配慮製品の販売促進のため、発電量をデータ化し、販売促進へ繋げるように顧客への検討資料に使用している。

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標

設置場所：十和田市大字三本木字野崎 地内  
太陽光発電パネルメーカー：Series B 48.0kW



Series B		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R5	日照	204.9	196.7	164.9	183.8	219.2	109.4	186.7	120.8	97.8	115	111.6	152.2	1,863
	発電量	6248	5945	4936	5543	6096	4209	4643	3971	2090	2983	3881	4134	54,679
R6	日照	231.8	229.4	224.5	152.3	107.4	178.8	167.5	132.8	98.3	107.7	148.9	171.2	1,950.6
	発電量	6338	5951	5427	5516	4419	6443	4519	4170	2422	2856	4507	5224	55,992

# ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

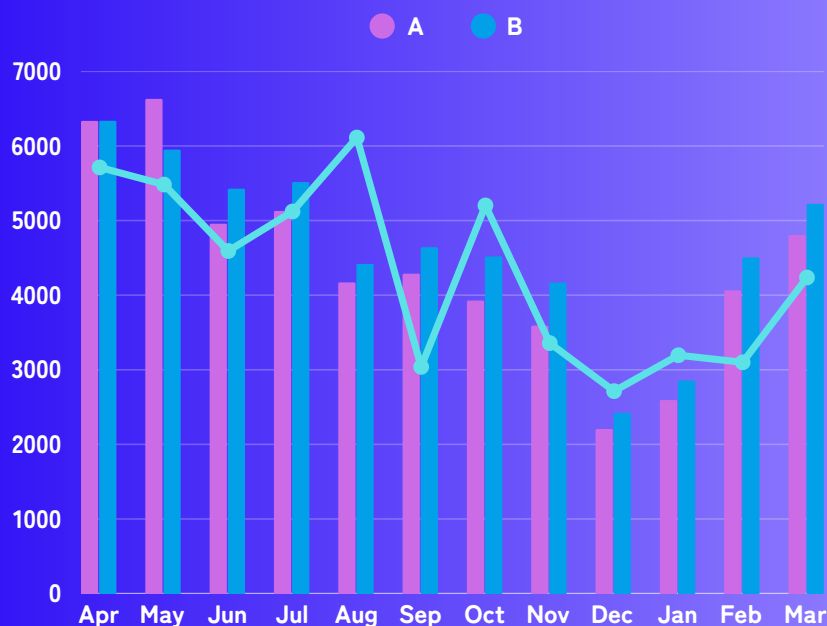
## 環境経営目標とその実績

### 当該年度の太陽光発電実績

環境活動の一環として、また環境配慮製品の販売促進のため、発電量をデータ化し、販売促進へ繋げるように顧客への検討資料に使用している。

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標

#### 太陽光発電量：パネルメーカー毎比較表



R6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日照	231.8	229.4	224.5	152.3	107.4	178.8	167.5	132.8	98.3	107.7	148.9	171.2	1,950.6
A	6336	6631	4958	5129	4171	4288	3928	3592	2206	2594	4064	4806	52,703
B	6338	5951	5427	5516	4419	6443	4519	4170	2422	2856	4507	5224	55,992
計	12674	12582	10385	10645	8590	8931	8447	7762	4628	5450	8571	11030	108,695

# ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

## 環境経営目標とその実績



LED LAMP

### LED照明

人感センサー照明



INDUSTRIAL WASTE

### 廃棄物の分別

分別を徹底することにより、リサイクル率を向上させ、産業廃棄物の削減に努める



FORKLIFT

### バッテリー駆動フォークリフト

バッテリー、タイヤ等を交換し、機体は再利用



RAINWATER

### 水使用量の削減

自動洗浄、乙姫等の使用による水使用量を削減



VOLUNTEER

### 青森県ふるさとの水辺サポーター

河川周辺の環境活動として、毎年実施



MEETING

### 通報・情報連絡の確認

現場での緊急対応などを再確認

## 04 | ENVIRONMENT

### 主要な環境活動計画の内容



# 主要な環境活動計画の内容

取り組み計画	取組内容
購入電力削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・ クールビズ運動</li><li>・ O A 機器・ P C などで使用していない機器の電源 O F F</li><li>・ O A 機器の省電力設定</li><li>・ 昼食時及び不使用時の消灯</li><li>・ 業務工程の見直しによるノー残業デーの実施</li></ul>
自動車燃料削減 (軽油・ガソリン)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 車輛の適正管理</li><li>・ アイドリングストップ</li><li>・ 急発進・急加速・急減速・急停車の防止</li><li>・ 早めのシフトアップ、エンジnbrakeの積極使用</li><li>・ エアコンを控えめにし、作業中の O F F</li><li>・ 計画的な運行ルートで行動し、忘れ物を無くす</li></ul>
事務所内燃料削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ウォームビズ運動</li><li>・ 暖房の控えめ運転</li></ul>
廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各自ごみの分別作業を心がける</li></ul>
リサイクル推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 金属くず・電線くずの分別</li><li>・ 廃電線有効事業活動への参加</li><li>・ ダンボール・古紙のリサイクル率アップ（オフィス町内会へ）</li><li>・ ペットボトル・瓶・缶類等の飲料容器の分別</li><li>・ 分別回収</li></ul>
化学物質適正管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 建設作業現場における化学物質の使用量を適正に管理</li></ul>
上水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 節水呼びかけ</li><li>・ 雨水利用による樹木の水やり</li><li>・ 雨水利用による構内清掃</li></ul>
環境配慮製品	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 省エネ照明の販売</li><li>・ 太陽光システム等の販売</li><li>・ 環境配慮製品の販売</li></ul>

# 05 | EVALUATION OF RESULTS OF ENVIRONMENTAL ACTIVITIES

## 取組結果の評価・次年度目標と取組



## EVALUATION OF RESULTS OF ENVIRONMENTAL ACTIVITIES

## 環境活動取組結果の評価

## 及び次年度の目標と取り組み

令和6年4月から令和7年3月まで環境活動を実施し、環境負荷量及び環境経営目標の達成状況等の評価を行った。  
今年度の取り組み結果及び評価を踏まえつつ、今後の経営状況等を鑑みて、次年度へ向けての目標と取り組みについて基準値及び目標値を下表の通りとした。

今年度取組						次年度取組				
計画	達成状況		目標削減 増加率	取組内相	結果	評価	目標		目標削減 増加率	内容
電力削減	基準	37,766	kWh	OA機器省電力設定 不使用時の部分消灯	2 2	取組されていたが、社屋工事のため未達成となった	基準	37,766	kWh	OA機器省電力設定 不使用時の部分消灯 AC適正温度設定
	目標	36,255	96%				目標	35,500	94%	
	実績	25,981								
灯油削減	基準	5,823	L	ウォームビズ運動 暖房の控えめ運転	2 2	各々取組されていた	基準	5,823	L	ウォームビズ運動 暖房の控えめ運転
	目標	5,717	98%				目標	5,649	97%	
	実績	752								
ガソリン 削減	基準	43,245	L	エンジンブレーキの使用 アイドリングの控えめ運転 計画的な運行ルート	2 2 2	省エネ運転 への心掛けが必要	基準	4,3245	L	車輛の適正管理 アイドリングストップ 急発進・急加速の防止
	目標	42,523	98%				目標	41,947	97%	
	実績	21,457								
軽油 削減	基準	45,833	L		2 2 2		基準	45,833	L	
	目標	44,990	98%				目標	44,458	97%	
	実績	32,391								
合 計 CO2排出量	基準	252,054	kg-CO2				基準	252,054	kg-CO2	
	目標	247,219	-				目標	243,979	-	
	実績	148,296								
一般廃棄物 削減	基準	4,030	kg	分別作業	2	分別されている	基準	4,030	kg	分別作業
	目標	3,949	98%				目標	3,909	97%	
	実績	2,146								
産業廃棄物 削減	基準	2,556	kg	分別作業	2	分別されている	基準	2,556	kg	分別作業
	目標	2,504	98%				目標	2,479	97%	
	実績	150								
リサイクル 向上	基準	95	%	ダンボール・古紙の分別 分別回収	2 2	分別されている	基準	95	%	金属・電線くずの分別 廃電線有効事業活動 ダンボール・古紙の分別
	目標	97	102%				目標	98	103%	
	実績	99								
水削減	基準	185	m <sup>3</sup>	節水	2		基準	185	m <sup>3</sup>	節水
	目標	182	98%				目標	179	97%	
	実績	92								
化学物質	基準	0	kg	適正な管理	-	使用する際は適正に管理する	基準	0	kg	適正な管理
	目標	0	-				目標	0	-	
	実績	0								
環境配慮 製品販売	基準	43	件	省エネ照明の販売 太陽光システム等の販売 環境配慮製品の販売	2 2 2	環境配慮製品の販売、 施工に努めている	基準	43	件	省エネ照明の販売 太陽光システム等の販売 環境配慮製品の販売
	目標	52	120%				目標	56	130%	
	実績	82								

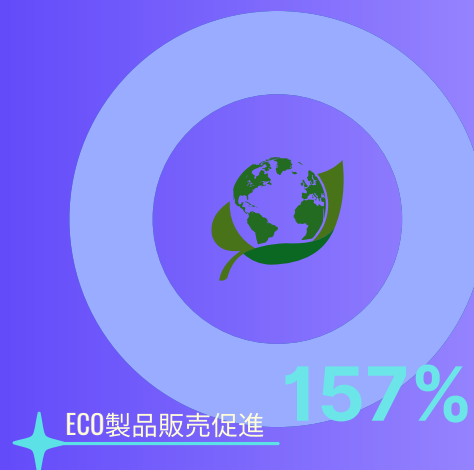
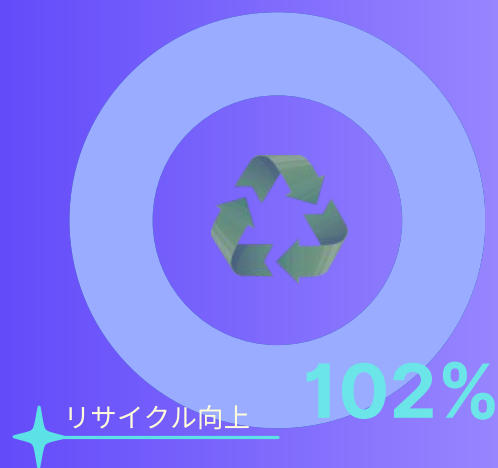
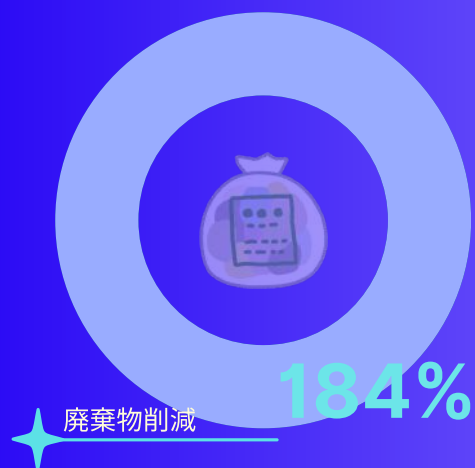
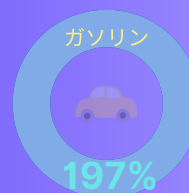
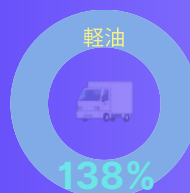
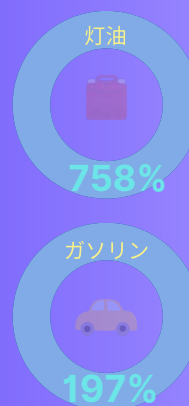
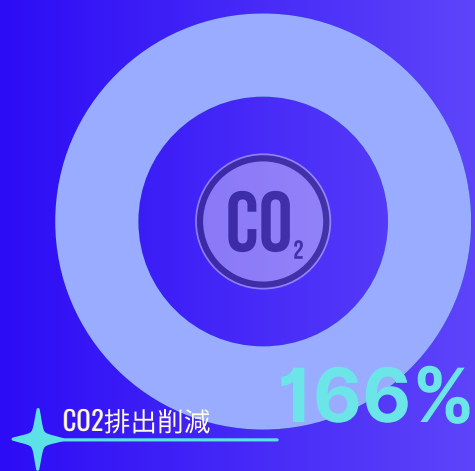
※ 評価 2：取り組んでいる 1：さらに取り組みが必要 0：取り組んでいない

# ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

## 環境経営目標とその実績

### 当該年度の環境負荷の実績と評価

当該年度の環境負荷達成率



## 06 | VIOLATION OF ENVIRONMENTAL LAWS AND REGULATIONS 環境関連法規への違反、訴訟等の有無



# 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情及び訴訟等について、問題はありませんでした。

## 環境関連法規制等の一覧

No	環境法令	内容	遵守評価
1	廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物収集運搬業の許可</li> <li>産業廃棄物処分の委託</li> <li>保管基準</li> <li>マニフェスト交付</li> <li>産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出</li> <li>自社による運搬時の表示、書類携行</li> <li>マニフェストに関する義務と罰則</li> </ul>	○
2	水銀汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>水銀使用製品が廃棄物となった場合の適正な回収</li> <li>水銀使用製品を適正に分別して排出</li> </ul>	○
3	消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準の遵守等</li> </ul>	○
4	フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>漏えい防止措置、未修理の第一種特定製品への充填の原則禁止</li> <li>点検等の履歴の保存</li> <li>フロン類算定漏えい量の報告</li> <li>点検の実施</li> </ul>	○

# 07 | OVERALL EVALUATION AND REVIEW RESULTS BY REPRESENTATIVE 代表者による全体評価と見直し結果



## 代表者による全体評価と見直し結果

当社では、持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の低減と地域貢献を両立する活動を継続的に推進しているところである。本年度は新社屋の稼働開始に伴い、設備面・業務面の両側から環境配慮の取り組みを強化した。

### 1. 主な取り組みと成果

- **電力使用量の削減**・・・新社屋においては、人感センサー照明の導入とこまめな消灯の徹底により、電力使用量の削減に大きな成果が見られた。12月からは倉庫・車庫における電力量の現状把握も開始し、今後の改善に向けた基礎データの収集を進めた。
- **ペーパーレス化の推進**・・・施工管理アプリ「KANNA」の活用により、業務案件や社内連絡をチャット等で行う体制が整い、業務効率の向上と紙使用量の削減を同時に実現することができた。これにより、社内の情報共有もよりスムーズになっている。
- **廃棄物の一時的増加とその要因**・・・年度当初に廃棄物量が一時的に増加した背景には、旧社屋の解体工事および倉庫・車庫新築に伴う仮置き場への資材移動があり、分別は徹底したものの、一般廃棄物の発生量が予想を上回る結果となった。今後は、資材管理と廃棄物発生予測の精度向上を課題として取り組みたい。
- **水使用量の見直し**・・・トイレ設定の再調整により、例年より多かった水使用量が通常レベルに戻り、設備面での環境負荷軽減が図られた。

### 2. 地域貢献と今後の課題

- **社会福祉活動への連携**・・・社内リサイクルの向上に加え、廃電線有効事業を通じたリサイクル活動を積極的に展開し、上十三地域の社会福祉活動への貢献を今後の重点課題として位置づけていきたい。
- **従業員の意識向上**・・・現在の取り組みには一部「人任せ」な傾向も見られるため、施工管理アプリ「KANNA」を活用し、各部署との連携を密にしながら、従業員一人ひとりが環境活動・社会貢献活動に主体的に関わる体制づくりを進めていきたい。

新社屋建設工事は外構工事を残すのみとなり、環境活動への影響も徐々に収束しつつある。次年度は改めて目標を再設定し、より実効性のある活動を展開して行きたいと思っている。当社は、環境への配慮を一層強化し、持続可能な社会の実現に向けて歩みを止めることなく取り組んで行きたい。

青森電気工業株式会社  
代表取締役 畑 中 健 一